

令和4年7月28日

報道関係 各位



名古屋市立大学教育研究部教務企画室
室長 森川 英俊 電話：052-872-5801

名古屋市立大学×名古屋市教育委員会 高大連携企画 『NCU グレイド・スキップ・チャレンジ 2022』 開催のお知らせ

名古屋市立大学では、名古屋市教育委員会との高大連携事業の一環として、令和元年度から「NCU グレイド・スキップ・チャレンジ 2022」を開講しています。

この企画は、市立高校の生徒が夏季休業期間の4～5日間だけ高校から大学に飛び級（Grade Skip）して、本学経済学部・人文社会学部・芸術工学部・看護学部の講座に参加するものです。実際に大学水準の調査・研究活動を体験できる、全国的にも珍しい取り組みです。

令和4年度は、名古屋市立の5校(菊里、向陽、桜台、名古屋商業、名東)から合計37名の生徒が参加予定です。

この企画を広く知っていただきたくご案内しますとともに、是非ご取材いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

記

- 1 場 所** : 名古屋市立大学 滝子キャンパス、桜山キャンパス、北千種キャンパス
※講座によっては学外で調査活動等を行う場合もあります。場所の詳細につきましては、取材のお申し込みをいただいた後にお伝えいたします。
- 2 講座・日程等** : 別紙「講座一覧」のとおり。
- 3 取材の申込** : 別添「取材申込書」をファックスにてお送りください。
※取材希望日の2日前（土日祝日を除く）までにご連絡をお願いいたします。
- 4 問い合わせ先** : 名古屋市立大学教育研究部教務企画室 尾関
TEL : 052-872-5807
MAIL : kyoumu_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp

宛先：名古屋市立大学教育研究部教務企画室【FAX：052-872-1531】

日付：令和4年 月 日

NCU グレイド・スキップ・チャレンジ2022 取材申込書

貴社名 _____

TEL： _____ (※当日連絡が取れる番号)

FAX： _____

取材希望日と講座名 _____ 月 日の _____ 講座

※当日取材される（予定でも可）方の氏名と、該当する箇所に○印をご記入ください。

ふりがな 取材者 氏名	
1.	記者 カメラ その他
2.	記者 カメラ その他
3.	記者 カメラ その他
4.	記者 カメラ その他
備考	

令和4年度(2022年度)

『グレイド・スキップ・チャレンジ』 開講講座一覧

1 全講座合同講義・ガイダンス(8月10日(水))

2 実施予定講座一覧

No.	学部	実施日	タイトル	内容	参加可能人数	講師・職名
1	経済学部	8月24日～26日	先進企業視察とビジネス・ゲーム実践でSDGs経営を考える(特別セミナーV)	本セミナーは、ビジネスゲームの実践を通じ、経営者に求められるアート系スキルとされる「強烈な意思」、「意思決定を行う勇氣」、「インサイト(ロジカルシンキングにとらわれた状況を正す洞察・発想)」、「しつこさ(考えるしつこさ、実行するしつこさ)」、「ソフトな統率力(ゲームをチームで行う場合に)」の意義を確認する体験を提供する。加えて、SDGsは、企業経営にとり「大きな問題(制約条件)」なのか「飛躍のチャンス」なのか? 今回のグレイド・スキップ・チャレンジでは、このような「問」を持ってSDGsに配慮した企業訪問を行い、実態の分析を通じ、ビジネスゲームのルール自体をSDGsバージョンへと変更し、新生ビジネスゲームに挑戦する。なお、企業訪問の際は、地下鉄一日乗車券を購入いただくこととなります(交通費は個人負担)。	高校生 9名	鵜飼宏成 教授
2		8月22日、23日	企業の財務諸表(成績表)を分析しよう	本講座は、企業の成績表である財務諸表について、グループワークを通して検討するものです。グループワークでは特定の企業	高校生 2名	高橋二郎 准教授

				を分析します。財務諸表が実社会でいかに活用されているのか(財務諸表の重要性)を体感してもらいます。その際、SDGs に積極的に取り組んでいる企業を取り上げる予定です。なお、応募者が3名以上集まらない場合は非開講になる場合があります。		
3	人文社会学部	8月24日、25日	エシカル消費への心理学的アプローチ～よりよい消費を普及させるには～	SDGsの12番目は「つくる責任つかう責任」です。これまでの大量生産・大量消費から、持続可能な生産・消費形態への転換が求められています。この講座では、エシカル消費について学びつつ、心理学の観点から、普及啓発の取り組みに対する効果検証の方法について学びます。	高校生 4名	久保田健一 教授
4		8月22日、23日	まちづくり論	大学1・2年生とともに、観光・福祉・空き家の3テーマで、まちづくりについて学びます。また、地域経済分析システム RESAS の活用方法も修得します。(SDGsの目標11に関連)	高校生 5名	三浦哲司 准教授
5		8月23日、24日	世界の難民を考える講座	新型コロナ感染症の拡大下にも世界の難民・国内避難民は増加し続け、2022年2月に起こったウクライナへのロシアの侵攻によって630万人以上(5月時点)の避難民が国外に逃れました。この講座では、難民になるとはどのようなことか、わたしたちの社会で難民となった人々をいかに受け入れることができるのかを考えます。このテーマは主としてSDGsの目標16に関連しています。	高校生 8名	山本明代 教授
6	芸術工学部	8月25日、26日	自然と都市との関係を考え	地域の自然のさまざまなカタチを理解し、どのような緑化が都市と	高校生 3名	大野暁彦 准教授

			る ～名古屋市 でのフィールド ワークを通 して～	自然との関係を考える上で相応しいか、実際の取り組み事例や山林の見学を通して理解を深める。2日目は、1日目のフィールドワークによって得られた成果を発表し、意見交換・ディスカッションする。(SDGsの目標 11、15に関連)		
7	看護学部	8月17日、18日	看護師・保健師の活動を実践的に学ぶ ～がん検診の受診率向上のための方策～	日本におけるがんの現状とそれに対する保健医療対策を概説し、看護の対象となる人々が健康的な保健行動をとれるよう支援するための看護活動を実践的に学ぶ。具体的なねらいは以下の通りである。* SDGsの目標 3、4 ・看護師と保健師の活動の場や対象、方法を理解する ・保健行動に影響を与える要因と保健行動の変容に関わる理論を理解する ・乳がんの実態とそれに対する保健医療対策を理解する ・がん検診の受診率向上のための方策を調査や文献等から検討し、健康教育を企画・実践する	高校生 3名	尾崎伊都子 准教授 椛野香苗 准教授
8	データサイエンス学部	8月24日、25日	データに親しもう ーデータ分析入門ー	高校生の皆さんが「数学」や「情報」で学習されているデータ分析手法や簡単な表計算ソフトを活用して、web上で公開されているデータから有益な知見を得ることを体験してもらいます。(SDGsの目標 9に関連)	高校生 3名	三澤哲也 教授 横山清子 教授

3 合同発表会 (9/25 (日))

参加生徒保護者の方や参加高校の先生方も参加可能とする予定。